



7/13 火遊びは絶対しません！火の用心！



▲正しい花火の遊び方を学ぶ園児

岩田こども園で幼年消防クラブ結成式・花火教室が行われ、年中児・年長児26人が参加しました。

幼年消防クラブは、幼少期から正しい火の取り扱い方を学ぶため、昨年度から現在までに、市内22園で結成されています。

花火教室では、実際に消防職員や先生に手を添えられて花火に火をつけると、「ちょっとこわい…」と怖がった様子でしたが、真剣に学んでいました。

子どもたちは、消防職員から正しい花火の遊び方について学んだ後、「火遊びは絶対しません！火の用心！」と元気に誓いました。

7/13 高校生が考える「〇〇なまちをつくります！」



▲生徒たちに入塾証が交付されました

市内5校の高校から、7グループ計35人が参加してヤング草莽塾の入塾式が開催されました。

今年は「私が市長です！〇〇なまちをつくります！」をテーマに、グループに分かれて11月21日(出)に開催される企画提案発表会に向けて取り組みます。当塾は、高校生の独創的でユニークな発想・提案をまちづくりに生かすとともに、活動を通して磐田市の魅力を再認識することで郷土愛を育むことを目的としています。

渡部市長は「今年もいいアイデアの提案を期待しています」と高校生にエールを送りました。

7/15 東京2020を彩るアートポスター



▲力強く描かれた作品が並びました

7月15日(水)から28日(火)まで、磐田市情報館で「東京2020公式アートポスター展」が開催され、全20種類のポスターが展示されました。

このポスターは、オリンピックやパラリンピックをテーマにした芸術作品を漫画家の荒木飛呂彦さん、浦沢直樹さんら国内外のアーティストが制作し、公式アートポスターとして東京2020の機運醸成に活用しています。

会場には、イラストの他にも写真や書道など、さまざまなジャンルのポスターが展示され、来場者を楽しませました。



7/19 退団する消防団員へ感謝の言葉を



▲退団した団員へ感謝の言葉とともに辞令書が手渡されました

磐田市消防署で「令和2年度磐田市消防団辞令交付式」が行われました。例年、新入団員に対する任命辞令交付も行われますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため規模を縮小し、令和元年度に退団した団員への解任辞令交付のみ行われました。

本^{ほん}多^だ団長は「長きにわたり、昼夜を問わず市民の生命・財産を守っていただきありがとうございました。消防団は仲間とのつながりを大切に活動してきました。今後とも仲間として皆さんの力を貸してください」と感謝の言葉を贈り、退団する団員の代表11人に辞令書を手渡しました。

7/28 子どもたちにタオルマフラーを贈呈



▲タオルマフラーを手に喜ぶ向笠小学校の児童たち

市と包括協定を結ぶポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社から市内小学5・6年生へ、ジュビロ磐田タオルマフラーとポッカレモン100が提供されました。本来は「ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦」で使用される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は中止となりました。

向笠小学校では渡部市長が訪れ、5・6年生39人にタオルマフラーなどを手渡しました。匂^{きぎ}坂^{さか}虎^こ太^た郎^{ろう}さん（6年）は「一斉観戦がなくなったのは残念ですが、これからもファンの一員として、ジュビロ磐田を元氣よく応援したいです」と話しました。

7/29 市政の発展に長年ご尽力いただきました



▲市長と市勢功労者（左から平野氏、松下氏、野寄氏、高木氏）

磐田市役所で「磐田市市勢功労者表彰式」が行われ、市の産業の開発・発展に貢献された高木昭三^{のより}氏と野寄宏之^{のより}氏、市の社会福祉・民生の安定に貢献された松^{まつ}下^{のり}悦^{のり}郎^{ろう}氏と平野文子^{ふみこ}氏を表彰しました。磐田市では、市の公益に寄与し、市政の進展に特に功績のあった方を「市勢功労者」として表彰し、功労章をお渡ししています。

渡部市長は「長年、市政発展のためにご尽力いただきありがとうございました。今後ともお力添えをお願いします」と感謝を伝えました。